

経営比較分析表（令和4年度決算）

香川県高松市 高松市立高松シンボルタワー地下駐車場

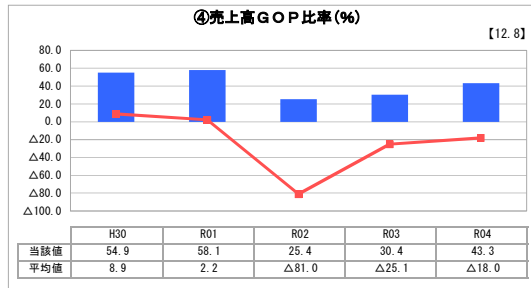
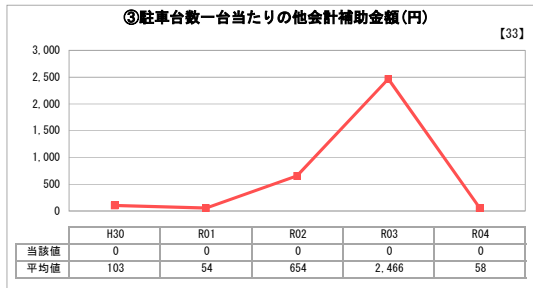
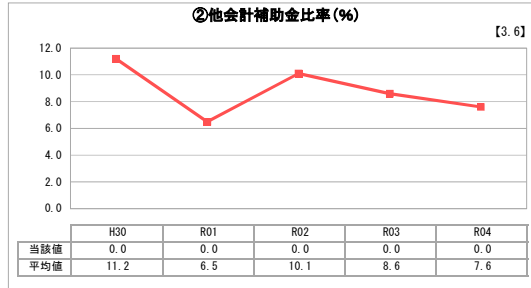
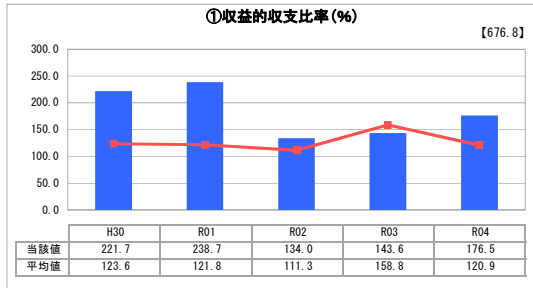
業務名	業種名	事業名	類似施設区分	管理者の情報
法非適用	駐車場整備事業	-	A2B1	非設置
自己資本構成比率(%)	種類	構造	建設後の経過年数(年)	
該当数値なし	都市計画駐車場	地下式	18	

立地	周辺駐車場の需給実態調査	駐車場使用面積(m ²)
商業施設	有	5,763
収容台数(台)	一時間当たりの基本料金(円)	指定管理者制度の導入
141	300	代行制

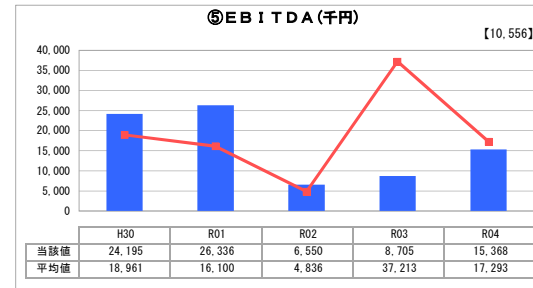
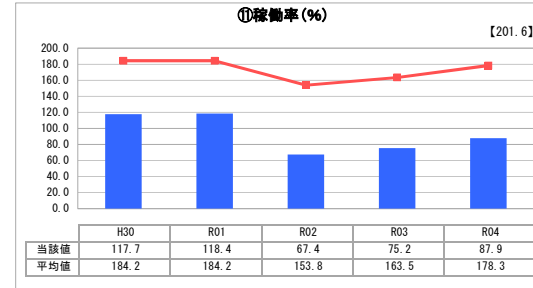
グラフ凡例

- 当該施設値（当該値）
- 類似施設平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

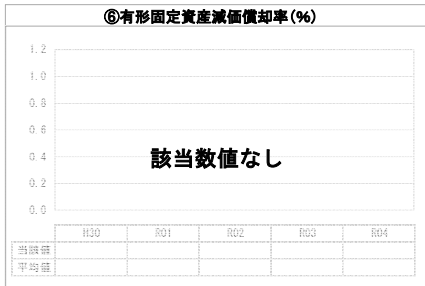
1. 収益等の状況



3. 利用の状況



2. 資産等の状況

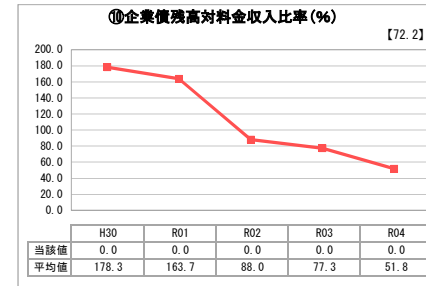
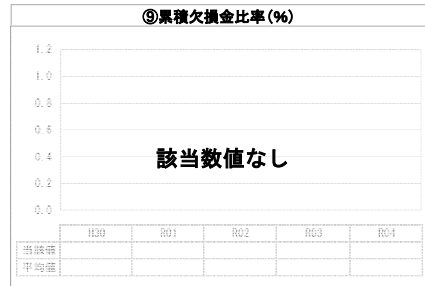


⑦敷地の地価(千円)

127

⑧設備投資見込額(千円)

0



分析欄

1. 収益等の状況について
 収益的収支比率、売上高GOP比率及びEBITDAについては、令和3年度から上昇していることから、収益性は高いと言える。なお、今後、設備投資については、年々増加していくことも予想されることから、共同で管理する香川県との調整を図り、サンポート地区来場者などの利用促進について、更なる収益の増加に向けて経営努力してまいりたい。

2. 資産等の状況について
 本施設は、サンポート周辺の大規模再開発に合わせて、シンボルタワー地下に一体的に建設した駐車場であり、敷地の地価は、市内においては上位に位置する。供用開始から約15年が経過しており、施設の老朽化が進む中、香川県との共同管理という特異性から、中期経営計画には、設備投資見込額を計上していないが、今後、設備投資については、香川県と調整を図りながら、計画的な修繕が必要と考えている。

3. 利用の状況について
 高松駅及び高松シンボルタワーに隣接又は、一体施設となっている駐車場であり、令和2年度から、新型コロナウイルス感染症の影響から、稼働率が大きく減少したが少しづつ上向きになっている。また、令和元年度までは、サンポート高松周辺における休日のイベント開催時には、満車となることも多く、稼働率が類似施設の平均値からは劣るものの、100%を超えており、一定の利用状態を確保していた。今後、サンポート高松周辺は、県立体育館や、大学、ホテル、JFR高松駅ビルの建設が予定されており、更なる利用が見込まれる駐車場ではあるが、稼働率の向上に向け、共同で管理している香川県と取り組んでいく必要がある。

全体総括
 本駐車場は、高松駅やサンポートで開催される各種会合イベント等の参加者の利用が多く、都市施設としての必要性は高いことから、今後必要となる設備投資を計画的に行っていくため、平成27年に「高松市立駐車場中期経営計画」（平成27年度～令和6年度）を策定した。更に、本計画の改正を令和3年10月に行い、施設の現況や点検結果等を考慮し、修繕計画の見直しを図った。今後とも、安心安全な施設の維持、経営の効率化、収支の健全化に努めてまいりたい。